

CADSUPER FX for Windows

バージョンアップ履歴

Ver.6.1 平成13年7月15日

VBScript によるカスタマイズ機能

現状のカスタマイズ手段としてのコマンドマクロ、Visual Basic、Visual C++ (個別契約による提供)に続き、スクリプト言語であるVBScript によるカスタマイズが可能になりました。

使用できるCAD 機能のカスタマイズレベルとしては、コマンドマクロとVisual Basic が初歩的な簡易機能として同等なレベルであるのに対し、より高度なCAD 機能を提供するVisual C++と同等なレベルでカスタマイズを可能にする新しい手段として、VBScript によるカスタマイズ環境を標準機能として提供しています。

カスタマイズの用途例

繰り返し作業の自動化

複数回行う必要のある操作手順をスクリプト化することによって、作業の自動化・効率化が図れます。

ユーザーコマンドの作成

用途に応じたコマンドレベルのスクリプトを作成し、メニューに割り付けて実行する事ができます。

スクリプトの再利用

作成したスクリプトをスクリプトファイルに保存し、他のドローイングで呼び出し・実行する事ができます。

他アプリケーションとの連携

ドローイングは、オートメーション操作を可能にするプロパティ・メソッドを公開します。

よって、スクリプティング言語を含む他アプリケーションから、ドローイング機能の呼び出し・実行が可能です。

同様に、ドローイング上で実行するスクリプトから他アプリケーション機能の呼び出し・実行も可能となります。

スクリプティング言語を含む他アプリケーション・・・E5.0x (推奨)Microsoft Office Excel,Word の VBA 等

注意事項

カスタマイズ環境を準備するためには、別途Microsoft® Visual Basic® Scripting Edition(以下、スクリプト エンジン)がインストールされている必要があります。

スクリプト エンジンはマイクロソフトが無償で配布しているものを利用します。ドローイングには添付されません。

スクリプト エンジンの最新バージョンは、Microsoft® Internet Explorer 3、4、5 および Microsoft® Internet Information Server (IIS) 3.0 と 4.0 に対応しています。

ドローイングでは、Microsoft® Internet Explorer 5.0x がインストールされた環境を推奨します。

最新のスクリプト エンジンは、マイクロソフト社のWeb Site からダウンロードすることもできます。

<http://www.microsoft.com/japan/developer/scripting/>

本機能を使用するには、FXとは別のセットアップを使ってマスターCDからインストールする必要があります。

これにより、実行環境、リファレンス、サンプルプログラム等のカスタマイズ環境が整います。

なお、本機能を用いてカスタマイズされるには、高度なプログラム開発の知識が必要でございますので、本機能は弊社サポート契約のサポート対象外とさせていただきます。

サンプルスクリプト

スクリプトの内容 : AddElem_Line … 図面上に任意の連続した線分を描画します。

```
'FILE:連続した線分を描画します

Sub AddElem_Line()
'FUNC:線分描画サンプル

    Dim p1(2), p2(2), id, elmno, status
    Dim figno
    Dim Msgstr

    MsgBox "AddLine テストを開始します"

    id = 0

    Do
        'カレント図面番号の参照
        figno = CurrentFigNumber

        If 0 = id Then
            Msgstr = "図面上で始点座標入力して下さい[キャンセル / 他メニュー選択で終了]"
        Else
            Msgstr = "図面上で終点座標入力して下さい[キャンセルで始点入力 / 他メニュー選択で終了]"
        End If
        status = InputPickPoint( 2, Msgstr, , p2, figno )

        If status = STATUS_CANCEL Then          'キャンセル
            If 0 = id Then
                Exit Do
            Else
                id = 0
            End If
        ElseIf status = STATUS_MENU Then      '他メニュー選択
            Exit Do
        ElseIf status = STATUS_POINT Then    '座標が入力された
            If id = 0 Then
                id = 1
            Else
                'UNDO 区切り
                UndoPend figno

                '線要素登録
                elmno = AddLine ( p1, p2 )
                MsgBox "要素番号 = " & elmno, , "Debug"

                '要素数表示
                AttributeDisp figno, 0
            End If
            '連続線を描画する為に始点を設定
            p1(0) = p2(0)
            p1(1) = p2(1)
        End If

    Loop

End Sub
```

データ互換について

Ver.6.0/6.1では抜き機能に対応するために、FX図面ファイルの形式を一部変更しています。

そのため、Ver.6.0/6.1で登録したデータをVer.5.1以前のバージョンで読むことは可能ですが、抜き情報の取り扱いが出来ないため、抜き設定された要素は正常に編集することができません。

よって、Ver.5.1以前のバージョンで使用する場合は、「FX 5.X (*.FXD)」を指定して登録をおこなってください。すでに登録したデータにつきましては、Ver.5.1以前のバージョンで読込んだあと、最適化 - テーブル、要素を実行してください。